

精神保健福祉

みやざき



宮崎県精神保健福祉連絡協議会

52

2012

表紙説明

高千穂の夜神楽

毎年11月下旬から翌年2月にかけて各地域ごとに主に民家を神楽宿として徹夜で舞われる。

五穀豊穡を神に感謝し又は来る年を神人一如の習俗が現在も継承されている。農耕の収穫を祈る舞いもあり、優れた民俗芸能として伝わっている。

「青いTシャツ」に込められた願い



この青いTシャツ（愛称：青T）には、
人知れずいつもたった一人ぼっちで悩み続ける方に向けて、
隣にいる誰でもかまわないから 何時でもかまわないから 少しだけでもかまわないから
「ひとりで悩まないで 誰かに話してみませんか」
というメッセージが込められています。

巻 頭 言

課 題

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会長

三山 吉夫

国は第5の国民病として、精神疾患をとりあげました。そして、うつ病、認知症、発達障害を重点対策項目としました。わが国の自殺者数は、3万人を超える状態が10年以上続いています。2011年度の宮崎県の自殺死亡率は27.7(人口10万人あたり)で、全国でワースト4位(2010年度は7位)ということでした。なかでも50歳以上の中～高齢者の自殺が多いのです。自然豊かな宮崎にはなんとも不名誉なことで大変深刻な事態です。何としてでも自殺者を減らさなければなりません。20代の若者は3人に1人が「自殺をしたいと思った」との報告があります。健康問題、経済問題、人間関係などが複合的な原因となっていることは、どの県でも同じです。自殺未遂者は既遂者の10倍はいると言われています。自殺未遂者は自殺を繰り返し、既遂する率が高いので未遂者の徹底した支援が必要です。県内では電話相談や法律相談などで悩む人に手を差し伸べていますが、自殺未遂者のアフターケアは十分ではなく、効果はいまひとつといったところです。もっときめの細かい対策が必要でしょう。自殺企図者の90%以上に精神障害(うつ病、統合失調症、薬物関連障害等)があるとされ、自殺者の80%は自殺する1年以内、66%は1カ月以内にプライマリケア医との接触があり、自殺のサインを発していたという報告があります。自殺未遂者の対応にあたる救命救急部のシステムの改善、精神科医療の充実や相談員などとの包括的支援が課題と考えます。

高齢者の認知症の問題は、高齢化率が高い宮崎県でも深刻な問題となっています。昨年末に宮崎県にも認知症疾患医療センターが設置されました。高齢者が認知症になっても住み慣れた所でなじみの人達と楽しんで過ごしてもらう事が福祉の本来の姿であります。また、介護者への配慮なしには、この課題は解決しません。かかりつけ医、サポート医、認知症疾患医療センターの連携を充実し、地域ではキャラバンメイト、サポーターの人たちと一緒に認知症高齢者を支えて行くことがこれからの課題です。

青年期や成人期以後の発達障害の問題も宮崎県で多くの問題を指摘されていますが、中心になって対応しているところがありません。成人の引きこもり、ニート、自殺の問題とも関係があります。診断・支援のためにも早急に対応のシステムを構築する必要があります。

このような事を考えると、宮崎県の精神保健は多くの課題をかかえています。それには、行政の認識・行動はもちろんですが、まずは県民の一人ひとりが問題を認識することが必要です。

「想定外」という言葉が地震等の災害で使われました。宮崎県の精神保健の状況は想定内の問題であります。宮崎県での問題点は、地域での横のつながりが不十分であること、地域内の人間関係が希薄になっていることが指摘されています。みんなで自分の問題として考える事が必要です。まずは、「一人で悩まず、周りの人に相談する、できる心の習慣づくりが解決の糸口となります。悩んだら家族、友人、同僚など身近な人に聞いてもらう、聞いてあげる環境づくりをしましょう。大震災後に、語られている「絆」も横の「絆」でなければ力になりません。相手の「痛み」を共感することが横の「絆」の基本であります。精神保健を高める対応として、相談機関の整備、自殺の原因になりやすいうつ病の早期発見・対応に力を入れていくことも必要でしょう。宮崎県人は横の「絆」を見直す事が課題だと思います。県外の人には、宮崎は穏やかで、人がよくて住みやすそうだと評価されていますが、本当にそうであるようにしたいものです。

目 次

巻 頭 言 課 題

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会 長 三 山 吉 夫	1
----------------------------------	---

第51回宮崎県精神保健福祉大会(平成23年度開催)

大会テーマ 『確かめよう絆！仲間と家族と地域と』	4
--------------------------------	---

精神保健福祉事業功労者(平成23年度)

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰(6名)	6
------------------------------	---

表彰受賞者の声(平成23年度)

宮崎県断酒友の会	米 崎 邦 雄(宮崎市)	8
南郷町精神障害者家族会	大 山 雅 嗣(日南市)	9
ボランティア	那 須 八重子(串間市)	9
社会福祉法人キャンパスの会	楠 元 洋 子(都城市)	10
N P O法人西諸地域活動センター菜の花	大 藺 良 一(小林市)	11

第11回宮崎県障がい者スポーツ大会の結果について

12

宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して(平成24年度)

地域生活支援センターすみよし	13
野崎病院精神科デイケア「虹の丘」	13
谷口病院チームクラーケン	14
西都病院デイケア「つきどん」メンバー一同	15
吉田病院精神デイケア	16

各地域精神保健福祉協議会の動き

宮崎地域精神保健福祉協議会	17
日南串間地域精神保健福祉協議会	18
都城北諸地域精神保健福祉協議会	19
西諸地域精神保健福祉協議会	20
西都児湯地域精神保健福祉協議会	21
日向入郷地域精神保健福祉協議会	22
延岡地域精神保健福祉協議会	23
西臼杵地域精神保健福祉協議会	24

精神障がい者支援組織・グループの動き

特定非営利活動法人宮崎県精神福祉連合会	25
社団法人宮崎県断酒友の会	26
ルピナス倶楽部	27

地域で活動する自助活動グループ等の紹介

精神障がい者都城地域家族会 太陽家族会 「インフォーマルな地域を目指して」	28
都農ふれあいの居場所	29
特定非営利活動法人あったかほーむ愛あい 「居場所、ひだまりかふえとは」	30

障がい者の就労促進等に取り組む事業所

延岡市地域活動支援センター こんにちは！延岡市地域活動支援センター「みなとです」	31
特定非営利活動法人 天岩戸友愛会 ふれあい作業所あまてらす（就労継続支援B型事業所）	32
五ヶ瀬町地域活動支援センター 五ヶ瀬町共生型福祉施設 ぬくもり	33
日之影町社会福祉協議会 フラワーパークのぞみ工房（就労継続支援B型事業所）	34
特定非営利活動法人談笑会 高千穂焼作業所（就労継続支援B型事業所）	35

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 賛助会員の動き

医療法人和敬会国見ヶ丘病院「地域移行支援について」	36
---------------------------	----

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

平成23年度事業実績	37
平成24年度事業計画	39
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿	40
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿	41

第51回 宮崎県精神保健福祉大会

《 ハートフルみやざき 》

テーマ：「確かめよう絆！仲間と家族と地域と」

1 開催日時：平成 23 年 11 月 8 日（火）
午後 0 時 30 分から 3 時 30 分まで

2 場 所：宮崎市民文化ホール

3 参加人数：500 名

4 大会内容

(1) 式典（表彰）

宮崎県知事表彰	8 名, 1 団体
宮崎県精神保健福祉連絡協議会長表彰	6 名
宮崎県精神科病院協会会長表彰	11 名

(2) 体験発表・パネルディスカッション

「地域で生きる ～仲間と家族と地域とともに～」

・ 体験発表	長友 ゆみ 氏 柳田伸一郎 氏
・ 地域生活支援センター W i n g	中村 敏子 氏
・ 医療法人慈光会 宮崎若久病院	浅岡 悦子 氏
・ 特定非営利活動法人ハッピーデイズ	清 岩男 氏
・ 株式会社虎屋	上田 耕市 氏

(3) その他

- ・ おもてなしコーナー
- ・ 展示コーナー
- ・ 幻覚疑似体験コーナー



精神保健事業功労者協議会会長表彰

6名の方々が表彰を受けられました。



体験発表・パネルディスカッション

地域で安心して生活できるため何が必要なのかみんな
なで考えました。



展示コーナー

ダイケア作品の展示



体験コーナー

機器を使用した幻覚疑似体験



多くの方々に御来場いただきました。
ありがとうございました。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰

氏 名	住 所	所 職 属 種	功 績 概 要
よねざき くにお 米崎 邦雄	宮 崎 市	宮崎県断酒友の会 理事長	平成 7 年よりアルコール依存症者とその家族の回復のための酒害相談を多年にわたり継続してきた。 また、宮崎県のアディクションフォーラムに、実行委員として関わり継続して開催するなど、長年にわたり「アディクションとは何か」を広く県民に周知・理解できるよう普及啓発に尽力してきた功績は大きい。 現在は宮崎県断酒友の会理事長として、県内 9 支部の当事者、家族の定例会の企画、会の通知をするほか、各支部の定例会にも参加し、活動の運営や回復者の育成を支援している。
おおやま まさつぐ 大山 雅嗣	日 南 市	南郷町 精神障害者家族会 会長	南郷町精神障害者家族会に平成 11 年 5 月に入会した当時から、妻と共に精神障がい者デイケア等での指導など積極的に参加しており、当事者（家族）が県外に転出した後も、引き続き地域の精神障がい者の支援に熱心に取り組んでいる。 平成 16 年に副会長、また、平成 22 年からは、会長として家族会活動を支えてきた。 温厚で親しみやすい人柄は、会員を元気づけ、精神障がい者からも厚い信頼を得ており、その功績は多大なものがある。 また、老人クラブ等の地域活動にも積極的に参加しており、地域住民の良き相談相手としても活躍中であり、その活動は、後に続く者の模範となるものである。
な す や え こ 那須八重子	串 間 市	精神保健 ボランティア	平成 5 年より串間市の食生活改善推進員の一環として長年保健所の精神障がい者デイケアの調理実習等に協力した。 その後、平成 14 年に発足した当事者の会「芽立ちの会」にも積極的に関わり、街の中でもつねに声かけする等、精神障がい者と気軽に付き合って相談を受けており、この信頼される活動が家族にも感謝されてきた。 平成 17 年地域生活支援センター Wing 設立後も、地域における当事者への自立支援活動はさらに拡大し、機会ある毎にセンターでのイベント、料理教室で協力するなど、その功績は大きく、後に続く者の模範となるものである。

氏 名	住 所	所 職 属 種	功 績 概 要
くすもと ようこ 楠元 洋子	都 城 市	キャンパスの会 理事長	社会福祉法人キャンパスの会の理事長・施設長として、障がいのある方が地域で自立した生活を送ることができるために、雇用の受け皿づくり、就労支援活動を展開している。 一般企業への就労、障がい者の賃金向上という点に特に力を入れている。多くの障がい者が働くことができるようにとの思いから様々な事業を展開している。 キャンパスの会の全施設は地域自治会に入会し公民館活動にも参加している。また事業所の行事や祭り等では、地域の方にボランティアとしての協力をいただくなど、地域との交流についても積極的に取り組んでいる。 これまで精神障がい者のみならず、知的障がい、身体障がいのある方の自立と社会参加の促進に尽力してきた功績は多大である。
とみもり こういち 富森 幸一	都 城 市	あじさいの里 理事長	社会福祉法人あじさいの里の理事長として障がい者の社会復帰、就労支援に取り組んでいる。設立当時、都城地区に就労支援施設がなく、精神障がい者が地域で自立して生活できるようにとの思いからあじさいの里を設立した。これまで保健所のデイケア（精神障害者社会復帰支援事業）に通所されていた方や病院を退院された方など主に都城、三股地域から多くの精神障がい者を受け入れている。 施設内では、日本各地のゴミ袋の加工・梱包、しいたけの栽培を行っている。民間の会社に出張して作業を行う利用者の方もおり、障がい者本人にあった職種・職場を探すことができるように職場の発掘に力を注ぎ、多くの障がい者が一般就労に繋がっている。
おおぞの りょういち 大蘭 良一	小 林 市	西諸地域活動 センター菜の花 指導員	平成 20 年 1 月から N P O 法人西諸地域活動センター菜の花の指導員として従事するかたわら、家族交流事業を実施。西諸地域では、家族会の高齢化や会員の減少により活動が難しい状況であったが、先進地視察や交流会（勉強会やレクリエーション）開催など、年 4 回程実施し、本人、家族の交流と情報交換の場となっている。 また、就労支援事業所の必要性を感じ、知人、ボランティア等の協力のもと、菜の花を拠点として、精神障がい者とともにパン、菓子製造販売を始めた。精神障がい者が自分たちでできることを模索し、収入だけを重視せず、精神障がいに関する様々な情報の発信源となるような活動を行い、24 年度の就労支援事業所への移行を目指して尽力している。

表彰受賞者の声

社団法人宮崎県断酒友の会と自殺問題

社団法人宮崎県断酒友の会 理事長 米崎 邦雄（宮崎市）

社団法人宮崎県断酒友の会は1975年（昭和45年）8月16日二人の発起人によって結成されました。今年7月22日第27回九州ブロック宮崎大会が開催されますがテーマが「孤独からの脱出」です。このテーマは宮崎県断酒友の会の発足からずっと引き継がれたテーマです。昭和45年ごろの社会問題は飲酒運転と自殺でした。日本が戦後の苦しい時代から高度経済成長に移行する激変する時期でした。激しい時代の変化と過酷な労働環境の中で、対応できなかった人の中にアルコール依存症がいました。先輩の体験談の中に・・・「私は第二次世界大戦の戦場で死にかけた。戦後はアルコール依存症で死にかけた。私は二度の大きな山を乗り越えたのは断酒会のおかげだ。身体も財産も友も・・・多くのものを亡くした」。絶望の中から「断酒会と出会い、かがり火を見つけた」。この体験談を聞いた時に、先輩の絶望感、喪失感、社会に対する失望感が孤独から酒にのめり込みアルコール依存症になる姿を見ることができます。そして、孤独から孤立へ移行し、いつ自殺しても不思議ではない時代だったと思います。



断酒会の体験談は人生の失敗談からはじまります。断酒会の魅力は成功した人の体験談ではなく失敗した話です。成功した人の話はその人の努力や頑張り、何事にもくじけない心、執念、また、その人しか持っていない才能やセンスがあり、感動はしても自分にできるとは思えない部分があります。憧れでもそれ以上でもなくそれ以下でもありません。

断酒会の体験談は人生の失敗談からはじまります。断酒会の魅力は成功した人の体験談ではなく失敗した話です。成功した人の話はその人の努力や頑張り、何事にもくじけない心、執念、また、その人しか持っていない才能やセンスがあり、感動はしても自分にできるとは思えない部分があります。憧れでもそれ以上でもなくそれ以下でもありません。

失敗談の話には裏も嘘もない等身大の自分です。嘘がない安心感はほっとします。アルコール依存症だから分かる体験は共有できます。頑張りや努力とは違った等身大の自分でいられる心地良さを感じます。また、自分で心に秘めた体験を吐き出す、すがすがしさを感じます。少しずつ元気が出てきます。自分で話したことは心の整理とこれからの自分でやることに責任を自分で管理します。断酒会会員は何も言わないが黙って見続けてくれる存在がうれしい。長年自分の心を見ることのできなかった私に、大きな居場所を断酒会は提供してくれました。

私は死にたいと思ったことは何回もありますが、勇気がなくできなかった自分を恥じていました。断酒会に出会えてよかった。体験談は最高の治療であり、最高の自殺予防と思います。

南郷町精神障害者家族会つくし会

南郷町精神障害者家族会つくし会 会長 大山 雅嗣（日南市）

第51回宮崎県精神保健福祉大会に於いて連絡協議会会長表彰をいただきました。実績のない私がこのような表彰を戴いてよいものと恐縮しております。

15歳の時に発病した長男が人のいない静かなところがいいと申すものですから、親子3人で神奈川県から私のふるさとに13年前に帰ってきました。最初のうちは、本当に静かだ、人の声も聞こえないと喜んでくれました。しかし、6ヶ月を過ぎる頃から神奈川に帰りたいたいと言い出しました。私どもはそうかと一緒に帰るわけもいかず息子一人を帰しました。息子がいないのでボランティアの立場になりましたが、初代会長が高齢と病気で、二代目会長は病気で引退され三代目会長をお引き受けいたしました。

息子の病気を、これは分裂病（統合失調症）ですと診断してくださった先生が家族会を紹介してくださり、ぜひ入会しなさいと勧めていただきました。統合失調症は恥ずかしい病気と思い込んでいましたから、ひた隠しに隠していました。誰にも話すことができずに苦しんでいる時、家族会に入会し同じ立場の人達と悩みが話し合えたことは精神的に非常に楽になりました。病人への対処の仕方なども沢山学びました。

いま、家族会は知られていないのか、どこの家族会も会員数が非常に少ない状態です。家族会が活発になれば、薬以上に治療に役立つはずです。また、働く場所の開拓など家族会の課題は山積みです。大いに広報活動を強め、家族会を大きくすることに努力いたします。



「精神保健ボランティア活動に参加して」

精神保健ボランティア 那須 八重子（串間市）

この度は、はからずも宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を受賞し、とまどいと喜びが交差しております。

私と精神障害の方々とのお付き合いは、平成5年に保健所の精神障害者デイケアの調理実習に参加したのが始まりでした。

その後、平成14年に発足した当事者の会「芽立ちの会」のお手伝いをさせて頂きました。これらの活動を通じて、お互いの面識も深まり、街角やスーパー等で気軽に声をかけられることが出来るようになりました。

社会から疎外された感のある「当事者」一人ひとりが、一市民として懸命に生きる姿に接し、私は彼や彼女達に多くのことを学びました。そして、感謝もされました。ご家族の方に「ありがとう」と言葉をかけられた時の感激は忘れることができません。

平成17年の地域生活支援センター「Wing」設立後は、「当事者」の自立支援活動が活発になり、作品展示等のイベントや、調理教室の機会も多くなりました。

これからも「Wing」の中村先生を始め、社会福祉協議会、「芽立ちの会」の方々の御指導のもとに、私に出来ることを積極的に実行し、「当事者」の方々との絆を深めて参りたいと思います。



社会福祉法人キャンパスの会 理事長 楠元 洋子（都城市）

平成 23 年 11 月 8 日、社会福祉法人キャンパスの会にとりまして、とても大きな、嬉しい精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂きました。

社会福祉法人キャンパスの会は平成 19 年 4 月から障がい者が地域社会で自立し生活していくために就労訓練と就労の場の確保に向けた取り組みを行ってきました。

今回の表彰は、精神障がい者における在宅、退院後の生活相談支援、職業訓練、雇用推進及び拡充に向けての支援、取り組みを認めていただけたとスタッフと喜びを分かち合いました。

＜就労継続支援 A 型（雇用型）実績＞

◎平成 21 年度

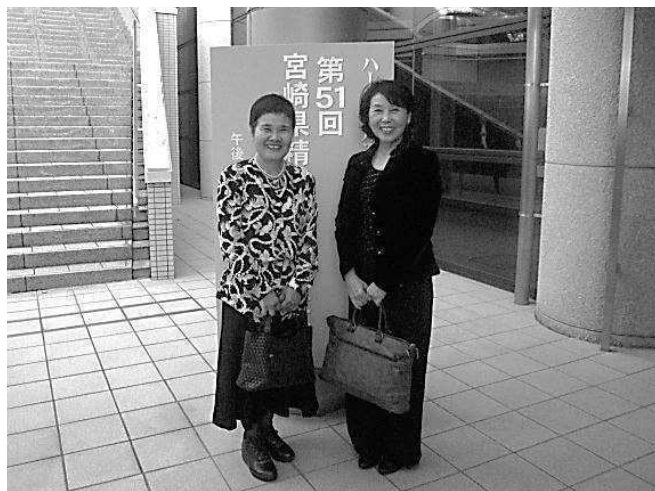
身体障がい者	6 名
精神障がい者	6 名
知的障がい者	14 名
計	26 名

◎平成 24 年 5 月末

身体障がい者	31 名
精神障がい者	27 名
知的障がい者	18 名
計	76 名



※平成 23 年度は就労継続支援 A 型（雇用型）から 8 名の方々と一般企業に送り出すことができました。



（第 51 回宮崎県精神保健福祉大会）

この賞をいただいたことを励みとし、これからも病院、福祉施設、企業との連携を密にして障がいのある方々の生活が安定できるよう力を注いでいきます。

「菜の花作業所の通所生に感謝！」

NPO法人西諸地域活動センター菜の花 指導員 大藺 良一（小林市）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただきありがとうございます。

梅雨の合間に咲いたガクアジサイを見つめながら、4年間の指導員生活を振り返っております。

菜の花作業所は精神障がい者の日中活動を支える居場所です。

そうだと頭では分かっているけど勤務1年目は頬がやせるほど落ち込んだ時期でもありました。特に、頑張りが持ち味の自分にとって「がんばろうね」と云う言葉が禁句だという事は大きなストレスになっていたと思います。

ただ、通所生やその家族の方々の人に云えない苦労に触れる中で、自分の心の内にも彼女らと同じような心の鬱、他人と顔を合わせたくないと言った気持ちが潜んでいる事に、ある時思い至りました。

心の病の大小はあっても、通所生と同じ病を自分も持っている、誰でもそれを持っているのだと気づいた時、ストレスは一気に氷解しました。

指導員と云うのは肩書だけの事であって、同じ仲間として付き合えばいい、指導し指導される間柄で行けばいいと割り切った後は気持ちよく業務に励めたと思います。

もうひとつ教えられた事は、彼女らは秘めた大きな力を持っているという事です。

昨年から作業所ではパンやクッキーの製造販売事業を始めました。製造までは何とか出来るだろうが販売、つまり知らない人の自宅や会社への宅配はできないと思っていましたが、今現在、配達も含め自分達で仕切れるようになっていきます。

人とのコミュニケーションを最も苦手とする彼女らが、お客と接する中で「おいしいよ」と声をかけられた事を生き生きと報告してきます。私の予想が完全に外れたうれしい誤算です。

今回の表彰は彼女らあってのものだと心より感謝しております。

更に家族会、ボランティア、行政関係など多くの皆様の御支援にもこの場を借りて御礼申し上げます。

今後とも彼女らと共に、菜の花を咲かせられるよう精進したいと思っております。



第11回宮崎県障がい者スポーツ大会の結果について

日 時：平成 24 年 5 月 13 日（日）

場 所：宮崎県総合運動公園

宮崎エースレーン（ボウリング）

参加選手

選手	1, 673人
役員	301人
ボランティア	300人
警察音楽隊	30人
	2, 304人

選手のうち精神障がい者

バレーボール	2チーム	15人
ミニバレーボール	13チーム	96人
グラウンド・ゴルフ	43チーム	281人
		392人

バレーボール	優 勝	江南よしみフェニックス		（宮崎市）
	第2位	江南よしみにこにこチーム		（宮崎市）
ミニバレーボール	優 勝	1パート	フレッシュハート	（延岡市）
		2パート	チームクラーケン	（日南市）
		3パート	井 上	（宮崎市）
		4パート	若草クリニック	（宮崎市）
グラウンド・ゴルフ	優 勝	A コース	チーム「つきどん」	（西都市）
		B コース	虹の丘A	（宮崎市）
		C コース	西都病院チーム	（西都市）

《第12回全国障がい者スポーツ大会バレーボール競技九州ブロック地区予選について》

日時：平成 24 年 4 月 14 日（土）

場所：沖縄県立総合運動公園体育館

出場チーム…10 回宮崎県障がい者スポーツ大会バレーボール競技で優勝した江南よしみフェニックスにこにこクラブが出場した。

九州ブロック大会で優勝した場合、全国大会（ぎふ清流大会）への出場権を獲得することになるが、本県は1回戦福岡市と対戦し、0－2と敗戦、交流戦においても北九州市に0－2と残念ながら敗戦した。

第11回 宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して

地域生活支援センターすみよし

平成 24 年 5 月 13 日に開催されたスポーツ大会に参加させていただきました。

大会当日まで参加メンバー全員が集まることは難しかったのですが、月 1 回練習し、パート優勝を目指して大会に臨みました。今回、優勝は逃してしまいましたが、2 位という成績を残すことができ、立派な楯を頂くことができました。スポーツで汗を流す事で、爽やかな気持ちになれ、チームの中も一段と深まったように感じられました。

～参加メンバー感想～

- ・支援センターから初めて参加しました。バレーを通して、仲間とのコミュニケーションの取り方の良い経験ができました。普段あまり接することのない人とも、バレーをしながら交流することができました。
- ・私は統合失調症。そんな私が障がい者スポーツ大会に出場するまで体調を整えることができた。でもそんな中、年々チームが少なくなった事が残念です。
- ・私は就職するのでこれからミニスポーツする事ができないのでとても残念です。皆さん、一生懸命頑張ってください。



一般財団法人 弘潤会 野崎病院

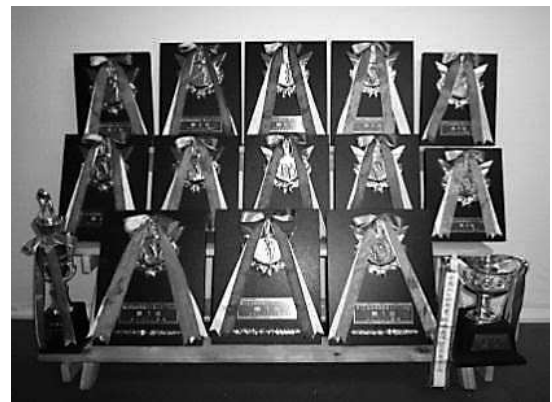
スポーツが盛んな野崎病院 精神科デイケア「虹の丘」では、毎月メンバー様が協議して決められる月間プログラムにおいて、グランドゴルフは、特に人気が高く、毎週実施しています。今年も参加した第 11 回宮崎県障がい者スポーツ大会では、ミニバレーボールに 1 チーム、グランドゴルフに部門最多の 4 チームが出場しました。

大会 2 ヶ月前から実際の大会会場である宮崎県総合運動公園「木の花ドーム」にてグランドゴルフの練習に励み、練習後は必ずメンバー様とスタッフみんなが集まってミーティングを行いました。

その結果、今年の大会ではグランドゴルフ A チームが念願の優勝盾を手にすることができました。また、4 チーム全てが各パートで 5 位以内に入賞する快挙を成し遂げました。

今年も多くの方と交流が持て、メンバー様の自信に繋がったこの大会に参加できたことを大変うれしく思います。大会で分かち合った喜びと固い握手は忘れることのできない大切な財産となりました。

精神科デイケア「虹の丘」 長友有平



谷口病院チームクレーケン ～優勝メンバーより一言～

県スポーツ大会も二回目になり、緊張は、そんなにしませんでした。他のチームの練習風景をみていると、上手だなと思いました。私も、ミニバレーに対して、より努力をしていかなくちゃいけないなと思いました。今回は、優勝できて本当に良かったです。

M ・ E

「スポーツ大会に参加して」

ミニバレー、昨年、今年と優勝して嬉しかったです。昨年は体調がすぐれず（うつ気味）大変緊張しましたが、今年は、少しは、楽しめたと思います。ここ谷口病院には、体育館の設備があり、私は火曜、金曜週二回のデイケア参加ですがスポーツ好きの私にとってとても楽しいです。来年も頑張りたいです。

I ・ S

対戦したチームもとても強かったので、勝ててよかったと思います。二試合とも勝つことができ、優勝することができたのでとても良かったです。負けると考えていましたが、勝ったのでうれしいです。

優勝バンザイ～～～

S ・ U



スポーツ大会当日 試合の様子

第 11 回宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して

☆西都病院デイケア「つきどん」メンバー一同☆

私たち、西都病院デイケア「つきどん」のメンバーは、グラウンドゴルフの部門で第5回大会から出場しており、今年で7年連続の出場となります。今年も無事に参加できた喜びと歳月の早さを改めて思います。グラウンドゴルフは、デイケアでも人気のあるプログラムで、春と秋のスポーツ日和になると、病院近くの公園で練習しています。だから、4月になるとデイケアの中では、自然とスポーツ大会の話題となります。練習の成果もあって、今年も優勝を飾ることが出来ました!!「参加することに意義あり」とは言うものの、優勝は嬉しいものです。このままロンドンオリンピックにでも出場しようかという雰囲気でした。今後とも、怪我に注意しながら、気持ちの良い汗を流して、グラウンドゴルフを楽しみたいと思います。



お疲れさま!



参加出場したメンバーさんの感想・コメントは・・・

「人工芝は、良かった。下手くそだけど、グラウンドゴルフ好きです。」

「楽しかったです。」「順調に終わりました。」

「努力で勝ちました。」「来年も、頑張りたいです。」

「疲れた。あんなに広いところは疲れた。」

応援者からの「スポーツ大会を通して・・・」

グラウンドゴルフ 西都病院の皆さんが、西都病院に持ち帰った汗の色。優勝のトロフィー。

汗は透明で色は見えないが、結果として形で見える。

「汗の色実りて重き稲穂かな」 努力は優秀な生活で生きるために絶対必要。

西都病院のみなさん おめでとう。そして、すばらしい皆さんへ。(マンボウより)

応援者からの「明るい未来。新年の西都」

生きがいを求める西都の風土。人との中で、取り組むプラスのイメージ。

誰もが求め合う西都の集い。教育の本質と人の求めるもの。(西都の集い。)

ありえるものに、人の思いやり。 助け合う宮崎。(T.S. より)

☆西都病院チーム☆

第 11 回宮崎県障がい者スポーツ大会 グラウンドゴルフの部 第 1 位

西都病院は去年に引き続き、男性 6 名が参加されました。今年は優勝を目標に 1 年間真剣に練習を積み重ねてきました。大会中は少し緊張した表情もみられましたが、4 名の方がホールインワンを出し、とても良い成績で念願の 1 位を取ることができました!!

○参加された方からの感想○

- ・今年優勝すると思ってた!
- ・大会の雰囲気に慣れてきた。
- ・ホールインワンが 2 個も取れて良かった。
- ・来年も優勝します。
- ・疲れた!でも楽しかった。



宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して ～メンバーの方からのコメント～

医療法人 建悠会

吉田病院 精神デイケア

日頃の練習やスタッフの力の入った
激励で1位になりました。やっぱりミ
ニバレーはチームワークが必要だと思
います。1位になったことは大変嬉し
く思います。(H・M)



一夜漬けみたいな練習でしたが、各個人頑張り、心の繋
がりが出て嬉しくなりました。ミニバレーの高齢化の中
で、チームの輪や仲間ができたこと、また他の病院の方と
の語らいもできたことはとてもよい思い出となりました。
また参加したいと思います。(K・Y)

今年優勝できたのは運がとて
も良かったからだと思います。
(K・M)



今年も参加できていい汗をか
き、今後の励みになりました。
また頑張っていきたいです。
(O・M)

宮崎地域精神保健福祉協議会

当協議会は、宮崎市、宮崎県及び東諸県郡における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【こころの健康づくり講演会】

日 時：平成 24 年 2 月 28 日 (火)

場 所：宮崎県総合保健センター 大研修室

参加者：70 名

内 容：講演「色を取り入れて、
毎日の生活を楽しく暮らしましょう」

講師 NPO 日本パーソナルカラー協会

理事 三浦南海子 氏



私たちが生まれながらに持っている肌色などに調和する「顔色を綺麗にみせる色」の探し方を、参加者全員がカラーチーフを使って教えてもらいました。「自分自身の表情を生き生きと見せることにより今後の生活を輝かすことができる」というものです。自分に合った自分色の発見に喜び、今後の生活が楽しみになりました。

【施設外活動費助成事業】

平成 23 年度から精神科病院・診療所と精神障がい者福祉関係施設の施設外活動を支援する「施設外活動費助成事業」を開始しました。

申請のあった活動の内容を一部紹介しますと、宮崎科学技術館プラネタリウム見学、西都原古墳群、考古博物館見学等で歴史に触れたり、コスモスの花や、雛山まつり見学で自然に触れたりした施設がありました。

今年度の助成金申請は 12 件でした。精神障がい者の社会参加や地域との交流がより盛んになるよう、地域に密着した施設外活動を各施設で大いに計画して、活用してほしいです。



【協議会だより「ゆとり」の発行】

精神保健福祉に関する情報提供と協議会の活動を中心に編集した、宮崎地域精神保健福祉協議会だより『ゆとり』第 16 号を発行しました。

日南串間地域精神保健福祉協議会

当協議会は日南市、串間市内の 20 の関係機関ならびに団体に構成されています。地域における精神保健福祉に関する知識の普及・啓発のための講演会や研修会及び会報「潮騒」の発行等の事業を行っています。

【自殺ゼロプロジェクト推進事業(自殺予防研修)】 『自殺予防～アルコール問題が深刻化する前に～』

開催日：平成 24 年 3 月 5 日 (月)

場 所：串間市総合保健福祉センター

内 容

○講演 1「アルコール問題と自殺について」

講師 医療法人十善会県南病院 副院長 藤元ますみ 氏

○講演 2「アルコール依存症の進行と回復」

講師 AA宮崎地区メンバー 2 名

参加者：93 名

- ・自殺の背景としてのアルコール依存症やうつ病との関係、アルコール飲酒時の自殺への影響についてわかりやすく説明していただきました。
- ・AAメンバーの体験談は依存症からの回復についてわかりやすく、参加者からもとても好評でした。



【障がい者地域移行促進強化事業(基礎研修)】



開催日：平成 24 年 2 月 16 日 (水)

場 所：日南保健所 多目的室

内 容

○講演「疾患の理解～統合失調症について～」

講師 医療法人同仁会谷口病院 精神科医 尾蘭和彦 氏

○体験発表「地域の皆さんに伝えたいこと」

発 表 者 当事者 3 名

参加者：70 名

- ・統合失調症の症状や治療をはじめ、患者本人や家族、周囲の方の対応についてわかりやすく説明していただきました。
- ・当事者が自身の体験を一生懸命話され、参加者は精神障がいへの理解を深めました。

【協議会だより(潮騒)の発行】

精神保健福祉に関する情報提供及び、協議会活動を中心に編集し、平成 24 年 3 月に日南串間地域精神保健福祉協議会だより「潮騒第 20 号」を発行しました。

都城北諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は都城市、三股町における精神保健福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主な活動としては、家族会等への活動助成や精神障がい者支援ネットワークを結成し講演会や普及啓発イベントの企画、協議会だよりの作成を行っています。

【精神保健福祉普及啓発イベント「スポーツ大会」】

日 時：平成 23 年 11 月 25 日（金）

13：30～15：30

場 所：ジョイプラザ都城店

当イベントは、スポーツ大会を通して地域の皆さんに精神障がい者への理解を深めてもらい、偏見がなくなることを目的に、16 年度から開催しています。地域で生活する精神障がい者やその家族 35 名の参加がありました。



【精神障がい者家族交流会・講演会】

日 時：平成 23 年 12 月 21 日（水）

13：30～16：00

場 所：かかしの里ゆぽぽ

内 容：レクリエーション「ひょっとこ劇場」

講演会 ①精神障がい者の就労について

講師 都城公共職業安定所 多田 真理子 氏

②これまでの経緯から伝えたいこと

講師 当事者（作業所から一般就労に繋がった方）

③就労支援を通して

講師 都城あおぞら太陽作業所 菊池 智徳 氏



西諸地域精神保健福祉協議会

西諸地域精神保健福祉協議会では、小林市、えびの市、高原町における精神障がい者の福祉の増進と地域における精神保健の向上を図ることを目的に活動しております。

【こすもす祭】

精神障がいへの理解を深めていただくことを目的に、平成 23 年 12 月 6 日に高原町総合保健福祉センターほほえみ館において、文化交流会（通称：こすもす祭）を開催しました。当事者や家族、ボランティア、地域住民の方々など約 300 名の参加がありました。精神障がい者ご本人の日ごろの想いやこれからの目標を「私達の声」と題して発表していただきました。参加された方々からは、「自立の道を考えているのがよくわかった」「当事者の方の生の声が聞けて良かった」「感動しました」など多くの感想をいただきました。



2 年前に精神科病院のスタッフに背中を押され退院された後、作業所で頑張って働いておられる方のメッセージです。

今では、普通に生活が送れるようになりました。

退院して 2 年になりますが、通院しながら作業所まで車で通勤して働いています。

作業所では配達の仕事もしています。買って下さる方々から「ありがとうございます。」と言ってもらえることが喜びになっています。

今後はもっと広い社会で働きたいと考えています。

今の課題は気力、体力がどこまで続くか不安です。この課題をクリアするために日々頑張っているところです。

当事者や地域のボランティアの方が一緒になって、参加者の方々としおり作りをしたり、コーヒーサービスを行いました。



西都児湯地域精神保健福祉協議会

西都児湯地域精神保健福祉協議会では、西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として講演会、レクリエーション交流会など様々な事業を行っています。

【管内レクリエーション交流会】

平成 23 年 11 月 28 日に、新富町ハッピーパークでグランドゴルフ、言葉遊び・歌遊びなどのレクリエーションを行いました。

医療機関、市町村のデイケア、家族会、当事者会、ボランティアの方々総勢 103 名が参加し、和気あいあいとした楽しい時間を過ごしました。



【こころの健康づくり講演会】 ※高鍋保健所と共催



日 時：平成 23 年 12 月 21 日

場 所：新富町文化会館 参加者：60 名

内 容

1) ミニコンサート（フルート、ピアノ演奏）

講演前に 30 分と短い時間でしたが、曲の合間には音楽の豆知識の紹介もあり、心癒される時間を作っていただきました。

2) 講演 「食とあなたの関係を見直す」

～あなたとあなたの身近な人のために～

講師 田上 敬子氏（南九州大学教授）

こころは脳の中にある、料理のメニューを考えるだけでも脳が活性化すること、おいしく食べることが重要であること、朝食と引きこもりの関係などをわかりやすく説明していただきました。参加した方々からは、「自分の食を見直して工夫していきたい」などの感想が多く聞かれました。



【精神障がい者地域移行促進に関する研修会】

※高鍋保健所と共催

日 時：平成 24 年 2 月 20 日

場 所：高鍋保健所 参加者：37 名

内 容

1) 講演「地域活動支援センターの役割」

～地域での関係機関との連携を中心に～

講師 太田尾 香代子氏(地域活動支援センターみなと施設長)

地域精神保健の目指すもの、関係機関との連携についてお話がありました。障がい者の自立した生活のための支援や関係機関による連携について考える機会となりました。



【精神保健・医療・福祉の社会資源マップ・資料集】

精神障がい者の方々が地域で生活するときに利用できる社会資源を掲載したマップの西都児湯地域版を作成しました。また、併せてマップに掲載した各施設が提供するサービスなどの詳しい情報を紹介した資源資料集もできました。

日向入郷地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村内の28の関係団体と80人の賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。



【自殺予防街頭キャンペーン】

平成23年9月18日、日向入郷地域自殺対策協議会と共同で自殺予防の街頭キャンペーンを行いました。

日向市のふれあいフェスタにて、協議会委員が宮崎県の自殺予防の象徴である青Tシャツを着用し、啓発用リーフレットとティッシュや風船の配布を行って予防啓発を実施しました。

【こころの健康づくり講演会】

平成24年1月29日、西郷ニューホープセンターで開催しました。

演 題 「こころの健康について」

講師 田中 洋 先生（田中病院院長）

参加者 88名

講演では、自殺の現状やうつ病の症状となりやすい性格、周囲の気づきと言葉かけの大切さ、人に相談する場を持つことや睡眠の重要性についてもお話がありました。



【さわやか交流会】

平成23年7月15日、サンドーム日向において開催しました。医療機関や市町村のデイケア、作業所などから103名の参加がありました。

恒例となった今年で7回目の玉入れは、混合チーム内で協力しながら、全員が笑顔で楽しむことができた交流会となり、参加者からは、「頑張って汗をかいた」「楽しかった」などの感想が聞かれました。

【家族会合同研修会】

平成24年2月24日、日向保健所で開催しました。

内 容：（1）レクリエーション（音楽療法）

（2）交流会

参加者：18名

昨年度に引き続き、音楽療法を取り入れたレクリエーションを行いました。楽器を使った自己紹介や歌、しゃぼん玉を使った遊びで、会場は終始、笑顔と笑い声が絶えず、こころも身体も温まりました。また、交流会では、「家族会の存続や若い世代の取り込みについて」「市町村単位での地域格差の問題」等の貴重なご意見が出されました。



延岡地域精神保健福祉協議会

当協議会は、延岡市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、延岡地域スポーツ大会、こころのコンサート、『こころの広場』発行などさまざまな事業を行っています。

【延岡地域スポーツ大会】

平成 23 年 10 月 27 日、18 回目となる大会を延岡勤労者体育センターと妙田公園において開催しました。

病院の入院患者さん、通院患者さんや当事者会である「仲間の会」、社会福祉施設通所者等のメンバーが、ミニバレーボールとグラウンドゴルフを通して交流を図っています。

今回は 161 名の参加がありました。ミニバレーボールは年々出場者のレベルがアップしており、決勝戦は白熱した戦いで延岡保養園 A チームが優勝しました。グラウンドゴルフは吉田病院ダイケア A チームが優勝し、12 名の方がホールインワン賞を受賞されました。



【こころのコンサート】

平成 23 年 12 月 20 日、ハーモニーホールにて開催しました。今年で 6 回目となりますが、それぞれ歌やダンスなど趣向を凝らした心温まる出し物がありました。

今年は保育園児によるかわいいダンスやボランティアの方々による琴演奏もあり、会場全体が一体となって楽しい時間を過ごすことができました。

毎年恒例の大抽選会では、今年も特別賞が用意されており、当たった方から歓喜の声があがっていました。



【こころの健康づくり講演会の開催】

日 時：平成 24 年 3 月 1 日（木）

参加者：103 名

内 容：講演「こころのケア～燃え尽き（バーンアウト）を防ぐ～」

講師 細見 潤 氏（細見クリニック院長）

延岡市以外からの参加もあり、会場いっぱいの参加者が熱心に講演を聴かれています。こころの健康を保つための取り組み方、考えの持ち方などについて具体的に分かりやすく話され、これからの生活に生かせる内容でした。



【こころの広場】

心の健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供を目的として、年 1 回発行し、会員、関係機関、当事者及び家族、ボランティア等へ配布しました。

西臼杵地域精神保健福祉協議会

当協議会は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、現在団体会員（24 団体）、個人会員で運営し、啓発活動を中心に事業を進めています。

【西臼杵地域精神障がい者地域移行支援事業】

受入条件が整えば退院可能な精神障がい者の退院促進、さらには、地域で健康に暮らすための連絡・調整を図るネットワークを関係機関により組織し、西臼杵地域における精神障がい者に対する生活支援を目的として、ピアサポーター養成講座等を実施しました。

在宅で暮らす方が入院患者さんと交流する「ピアサポーター派遣事業」の事前研修として、グループワークを中心としたワーキングを行いました。入院患者さんが在宅生活のイメージができ、作業所等での仕事や退院について考える良い機会となるよう、今後も支援していきます。



【感想】

話を聞いてもらえる感覚がとても心地よいグループワークでした！
講師の方がイキイキされていて、素敵でした！！私もそうになりたい！



【西臼杵地域障がい者自立支援協議会との連携】



「障害福祉サービス事業所説明会」
161 人の参加をいただきました！
障がいを持つ方がその人らしく生活できる西臼杵地域を目指して！！



「西臼杵郡障がい者スポーツ大会」
当協議会からは、参加賞を提供！
みなさん、元気に笑顔でプレーされていました。

【啓発誌の発行】

「精神保健福祉たちほ 18 号」を発行し、平成 24 年 3 月に会員と西臼杵地区全世帯に配布しました。

精神障がい者支援組織・グループの動き

「家族・当事者が街頭に立つての署名活動！」

NPO 法人宮崎県精神福祉連合会

平成 22 年度から全国の家族会が実施していた「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める署名活動を宮精連も実施してきました。

基本法の要旨は、1、精神保健改革（心の健康・セイフティネットの構築）2、精神医療改革（チーム医療・アウトリーチ・専門医療の充実）3、家族・介護者支援（当事者を介護する家族を地域社会として支援）などです。

署名に関して、24 年 4 月現在、全国で 72 万筆ほどの署名があり宮崎県で 5700 筆の署名を集めることができました。その活動の中で全国一斉街頭署名活動を実施することになり 23 年に 2 月・6 月・11 月の 3 回宮崎市中心地の山形屋デパート前に家族・当事者・関係者の方々と立ち大きな声で署名を求めました。家族がこのような人通りの多い場所で市民に訴えた活動をするのは、今までにないことで勇気のいる事だった



と考えますが、この署名活動を通じて理解ある方達がい、孤立するのでなく絆を生み出す活動であることを実感できたし、訴えれば答えてくれる方々が周りにいるのだということを知る街頭署名活動の体験になりました。

この署名活動を通して平成 23 年 12 月に超党派の国会議員による「こころの健康推進議員連盟」が発足し、元厚生労働大臣、副大臣経験者の方々が名を連ねて基本法制定に対して実現する方向で動いてくださることになり、家族・関係者は心強く感じ、より一層多くの署名を求める活動を推進し、24 年 6 月 6 日に衆院議員会館にて議員連盟の議員出席の中、72 万筆の署名用紙提出となりました。

また、24 年度になりより確実に基本法制定を求めて、地方議会から国に「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書採択を求める活動を始めることになり、宮崎県内市町村議会の 3 月議会に意見書が採択されるよう陳情書及び請願書を出して働きかけました。

その結果、宮崎県議会・宮崎市議会・都城市議会・日南市議会・串間市議会・延岡市議会・日向市議会・国富町議会・高原町議会・門川町議会・綾町議会・椎葉村議会（24 年 7 月 5 日現在）、全国では 279 議会（人口：8,228 万人）の採択があり、その後の 6 月・9 月議会でも意見書採択を求めていますので、まだまだ増える見通しです。

国に働きかけるために、地方議員の方に精神疾患の現状を理解していただくことを通して、地域での対策も重要であると訴えることができたことは、議員に対するロビー活動の重要性を知る機会にもなりました。全国的に家族会が法制定の署名活動や議員に働きかけることは、初めての経験でしたが多くの関係者と連携することで、より良い社会をつくるための基本法制定の活動になりました。



現在、厚労省は改革ビジョンによって医療福祉改革を推進しています。特に「入院から地域へ」の転換を強力に推進してきていますので、家族として地域で安心して受け入れながら生活するには、充実した地域支援が必要であることを関係機関に訴えて理解していただき、地域での共生が実現することを目指しています。

「社団法人宮崎県断酒友の会の新たな活動」

宮崎県断酒友の会 理事長 米崎 邦雄

アルコール依存症は否認の病気と言われます。故にアルコール依存症者からの回復は非常に難しく、また、自助グループへの組織化は至難の業です。宮崎県断酒友の会は発足以来42年を迎えますが、よく今日までつぶれずに至ったのは、ひとえに医療、行政の温かい支援と協力のおかげだと思っています。心より感謝申し上げます。

今、アルコール依存症者の問題は時代の変化に伴い、依存症者の高齢化と低年齢化、女性の依存症者の増加、アルコール依存と薬物依存、摂食障害、ギャンブル依存など多様化しています。また、世代間連鎖が家庭環境を破壊し、親子の問題が新たなアルコール依存者を作り出しています。見えない水面下で形を変えアディクションとしてのアルコール依存、ギャンブル依存、薬物依存、仕事依存と新たな依存症者を作り出しています。情報の大量流出によるアルコール依存症を軽易にみなす傾向が多くなりました。その結果、治療到達まで入退院を繰り返します。

昨年より公益社団法人全日本断酒連盟となりました。より公益性を求める事業を展開することになりました。単に「酒害者による酒害者ための自助組織」でしたが、これからは酒害者による酒害者ための自助組織と同時に市民活動グループであると位置づけ活動の枠を広げ親子の問題等も真剣に取り組みます。

宮崎県断酒友の会は全日本断酒連盟の活動指針のもと活動を行います。断酒会のパワーの源は例会です。そのまた源は体験談です。真実とその真情が語り続けられる限り、そのパワーは発揮されます。

体験談を語り聴き続けることにより、充分自分を肯定できてきます。どちらかという過去的人生・これからの人生に対して悲観的でありました。「アルコール依存症者になってよかった」と心から言う断酒会会員がいます。この人は本当に自分を充分肯定していると思います。

自分を充分肯定すると、その思いは自分の中だけにとどまらなくなり、市民活動へつながっていきます。

活発な例会は、活発な市民活動を生みます。市民活動の出発点は例会にあり、体験談にあります。体験談は我々にしかない財産です。

例えば、親子関係の問題の解決策は体験談の中にかくされています。しかし、かくされたままにしているはいけません。わかりやすく表現して、一般市民に提供して、はじめて体験談が社会資源になるのです。

さて、日本の精神保健福祉対策は入院治療施策から、地域社会のなかで治療し回復し社会復帰していくという施策に変わってきております。

アルコール依存者に例をとると、自助集団運営の作業所など、医療と社会の中間施策の充実が求められてくると同時に、自助集団にある地域の各断酒会に真価が問われる時代になってくると考えられます。今、宮崎県に求められているのは自殺予防対策です。自殺の背景にアルコール依存症がかなり深く関係しています。断酒会に「語るは最高の治療です」があります。「語るは最高の自殺予防」になると考えます。

今年も全国の断酒会で、活発な例会活動が行われることを期待します。

ルピナス倶楽部の動き

会 長 川越 竹光

ルピナス倶楽部も発会しまして早7年目に入りました。ルピナス倶楽部という会名だけが、一人歩きをしているかのようにも思えてならないこの頃です。でも、これじゃいけない「どげんかせんといかん！」と私をはじめとしてルピナス倶楽部の実行委員のみんなが思って思案にあえいで日々、活動しています。会員・協力会員も減少の一途をたどって少し寂しい気もしますが、ルピナス倶楽部の実行委員一同めげずに会報「ひまわり」を発刊、発送を通じて県内の当事者、一般市民に精神障害者の今の実情を発信し続けています。

現在のルピナス倶楽部「宮崎県精神障害者団体連合会」は、会員の人材不足といったところでしょうか。私としましては、宮崎市内の当事者で、やる気があってルピナス倶楽部に興味のある方は、ぜひ宮崎市内にあります宮崎県精神保健福祉センター(TEL 0985-27-5663)に電話してルピナス倶楽部のことを聴いていただいて、会長である川越まで電話くだされば有り難く思います。

ルピナス倶楽部の今後の活動は、平成23年2月に延岡市にオープンしました地域生活支援センター「みなと」を7月中に見学に行き「みなと」の特徴的な所、アピールしていきたい所等を聞いて交流を深めたいと思っています。それと新富町の元県立富養園跡地に開所しました、こころの駅・ハッピーパーク、モットーは笑顔と元気になるところ・笑顔と元気を発信するところ。誰でもがユメのある生活と豊かな人生を送るためにノマライゼーションとバリアフリーの実践をかかげています。なにかモットーを聞いただけでも心がワクワクするこころの駅・ハッピーパークを10月中には見学したいと思っています。この2カ所の施設をなぜ見学したいかと申しますと、私たちルピナス倶楽部は今、暗中模索をしています。ルピナス倶楽部という団体に何かが足りないような気がしまして調味料みたいな何かが、それで会員が増えないのではないかと思います。新しい施設を見学して、その答えがみいだせればと思っています。それと今年度から平成24年4月28日に発会しました障害者の差別をなくす条例をつくる会・宮崎の活動を共にやっていきたいと思っています。さまざまな障害を持っている県内の当事者・家族会の団体です。いずれは県の議会を動かして障害者の差別をなくす条例をつくるのが最終目的なようです。

継続は力なりという言葉がありますようにルピナス倶楽部も永い目で見えていただいて、今後とも活動を持続しつづけて色々とチャレンジしていきたいと思いますので、皆さんのあたたかい目で、ご協力の程よろしくをお願いします。

地域で活動する自助グループ等の紹介

「インフォーマルな地域を目指して」

精神障がい者都城地域家族会 太陽家族会

事務局 永野 紗智



太陽家族会は、平成22年8月に発足しました。家族の人たちが同じ悩みを語れる場所がないことや、私たち支援者も自宅での支援ができない為、どうしても家族の方に頼る形になっていましたが、家族会を通して家族の方々の声や連携の強化を図ることにより、よりよいサポートができると思ったのが発足の経緯になります。事務局を「就労継続支援事業所太陽」に設置し平成22年度は1回、平成23年度は3回交流会や勉強会、料理教室を開催して参りました。家族会と言え

ば家族等の支援者側が参加する会と思いがちではありますが、太陽家族会では当事者も参加しております。支援者側が障がい等に対して理解することはもちろんですが、当事者自身も障がい等に対し理解をすることが大変重要であると思います。例えば、平成23年度に行われた交流会は、御家族と当事者の会話の場の提供を目的として行われました。家族からよく耳にするのは「当事者が何を考えているのか分からない、会話の仕方が分からない」等でした。会話の場所の提供を行うことで、お互いが向き合うきっかけのお手伝いが出てきたと思っています。

また親亡き後を心配される家族も少なくありません。自立した生活を送る為に不可欠となるのが料理です。料理教室を開催することで料理を行う機会の提供、自立に向けての一步を踏み出して欲しいという期待も込められております。

今後は様々なジャンルを議題とした勉強会を通し、地域や支援者側及び当事者の理解度を高め合うこと、交流会や料理教室を通し、同じ悩みを語れる場所の提供、支援者側と当事者の交流の機会の提供等でお互いが住みやすい地域づくりを目指すことを目標に進んでいきたいと思っています。

最後に、一人で悩まれている方、相談したいけどどこに相談したら良いのかお悩みの方、日中の活動場所を探されている方などいらっしゃいましたら、ぜひ太陽家族会へお越しください。お待ちしております。



都農ふれあいの居場所

一昨年の口蹄疫や昨年の東日本大震災では、日頃からの人と人とのつながりが、いかに大事であるかを、痛感させられました。この都農ふれあいの居場所では、年齢や性別、障害の有無に関わらず、いつでもだれでも訪れ、そこに来た人たちと様々な触れ合いを通して、失われつつある地域の助け合いの精神を再確認する場を作ることなどを目的として、元 理容店の空き店舗を利用し、昨年12月に開設しました。

スタッフは全員ボランティア。イベントのない日でも、毎日10人前後の方が来られて、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しんでいます。(町外の方の利用もあります。) 土曜日は小学生が遊びに来て、大人と将棋の対戦をしたり、ビーズ工作をしたりして、毎日にぎやかに過ごしています。

**赤ちゃんから おじいちゃん おばあちゃんまで いつでも だれでも 気軽に立ち寄って
人と人がふれあい 絆を結ぶ 集いの場所です。
みなさま お気軽に お越しください。**

利 用 時 間

月～土 10:00～17:00 (基本的に日・祝祭日はお休み)

スタッフの都合により、ご利用時間であっても、お休み・変更する場合がありますので、ご了承ください。

◎ こんな時にも ご利用ください ◎

- ・買い物・病院帰りに ちょっと寄ってみよう。
- ・なんだか気分が晴れないな・・・
- ・お友だちとゆっくりおしゃべりしたいな。
- ・だれか話を聞いてほしい。

◎ 都農ふれあいの居場所では こんなことを やっています ◎



←毎週火曜日は、昼食会を開催。
参加者全員で、準備から後片付けまで行います。
参加費は、300 円程度です。
毎回 20 名近く参加されます。



←まちの保健室
月1回開催。
都農町健康管理センターの保健師の方による健康相談。



←畜産農家の方々の新たな交流の場となるように、牛の写真をファイリングしていつでも見る事ができるようにしています。

その他

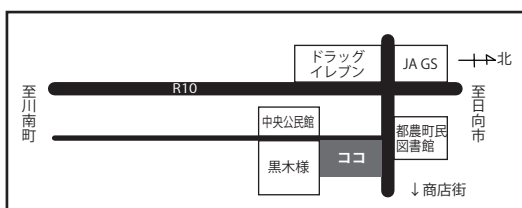
- ・ふれあい音楽会 (地域の方による演奏会。)
- ・居場所でしゃべらナイト
(月1回 18:00～開催。持ち寄りの食事会。
禁酒・禁煙、後片付けは男性です。)

など

(問い合わせ先)

都農ふれあいの居場所 TEL/FAX 0983-25-2500 (担当: 青木)

<http://tawawa810.blog.fc2.com/> <http://tsunoibasyo.3kt.jp/>



「都農ふれあいの居場所」は宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業による助成により開設運用され、NPO 法人みんなのくらしターミナルとたわわハートねっと(都農町)が協働で運営しています。

★居場所、ひだまりかふえとは★

特定非営利活動法人 あったかほーむ愛あい 横山美智子

“1年間に3万人の人が自ら命を絶っている”という事実を見せ付けられたのは、平成21年7月だった。その事を考える勉強会とやらの誘われて数回出席した、その会は、県、市の保健師さん、市の担当課の方、社協、これまでいろいろな活動をされてきた方々。そのような中私のような者に声かけいただきありがたいという気持ちとこんな凄い人達の中で一緒に勉強ができるのなら、一度も休むことなく出席してみようと思っただけだった。

数回の勉強会を終わる頃、当初13、4人の出席者が6、7人になっていた。最後の会の頃には、何となく日向にも居場所が必要だなあ・・とは感じていたが、私がやる事ではないと思っていた。が、気がつけば平成22年10月より事務所の片隅で週一回の“ひだまりかふえ”という居場所を提供している。いまだに、私がやることなのだろうか?と思う事がたくさんある。

あの頃を振り返ってみると、始めるに当り、私が少しばかり気軽に思っていた事がある。それは私たちは専門職ではないということ。医者でもなく、保健師でもなく、カウンセラーでもないただの人。このことがとてもよかった。困ったら専門職につなげればいい、そう思っていたからだ。

「一緒にコーヒーを飲みませんか?」という呼びかけに想像以上の方々に来ていただいた。始めましての後に必ず言う事がある「私たちは、専門職ではありません、だから、あなたの抱えている事を解決する事はできないと思います。が、一緒にお茶を飲みながら、話を聞く事はできますので、よかったら何でも話をしてくださいね。」と。

本当に抱えている問題を解決することはできない。しかし、このことは〇〇につなぐと何とかなるのではと感じる事もあり、その時は積極的に専門機関に話を聞いてもらう事をしている。

平成22年10月から平成23年3月までに、延べ85名の方々が毎週木曜日の10:00から15:00の間に来られ、一緒にコーヒーを飲んだ。改めて数字を見ると「ああ〜」と思う。なぜなら環境が整っている場所でもなく、日向一美味しいコーヒーを出してくれるのでもないこの“ひだまりかふえ”を必要としている人がこんなにもいる事に驚かされる。

これからも私たちに出来る事は、一緒にコーヒーを飲むことだけ。これは今後も変わることはないだろう。



障がい者の就労支援に取り組む事業所

こんにちは！延岡市地域活動支援センター「みなと」です。

「みなと」はH23年2月に、医療法人建悠会が市の委託を受け開所しました。



- ◆ 場所は、県立延岡病院の南側
- ◆ 職員は、施設長1名、相談支援専門員2名、指導員1名、支援員1名の5人です。
- ◆ 毎週水曜日、祝・祭日、お盆、お正月はお休みですが、土日は開所しています。
- ◆ 開所時間は午前8時30分から午後5時までとなっています。

◆ 事業内容としては、

- ① 基礎的事業…創作、スポーツ、レクリエーション活動を通し仲間作りの場を提供します。
- ② 機能強化事業…地域活動に参加し、地域住民の方との交流を図りボランティア育成や受け入れを行います。
- ③ 相談支援事業…ご本人やご家族、関係者等の生活全般の相談を受けます。
- ④ 相談支援機能強化事業…専門的な指導、助言をします。

◆ 利用対象者は、延岡市在住の障がいのある方、ご家族などとなっています。

◆ 費用は、無料です。調理実習の時など有料のこともあります。

生け花や書道、折り紙、調理、三味線、民話の語り、太極拳などのプログラムがあり、興味があるものに参加され楽しまれています。サロンは週末が一番多く、作業所やデイケアに通所されている方も来所されます。卓球やグランドゴルフも人気で、とても賑やかに過ごしています。

みなさんにとって「ホッ」とできる空間を目指しています。



今年5月から、「みなと研修会」と「パソコンチャレンジ研修会」を始めました。

「みなと研修会」は、2か月に1回開催しています。講話や懇談会を通し、利用者・ご家族・地域の方との交流を深め、日ごろの思いや病気について分かち合えたらと考えています。

「パソコンチャレンジ研修会」は、第2・第4日曜日に開催しています。講師は、当事者で、みんなで和気あいあいとやっています。初めてパソコンを触る方など大歓迎です。

延岡に来られる機会があれば、是非お立ち寄りください。



特定非営利活動法人 天岩戸友愛会 ふれあい作業所あまてらす

就労継続支援B型事業所

「あまてらすの歩み」

- 平成 10 年 10 月 22 日 福祉作業所「ふれあい工房あまてらす」開設
- 平成 18 年 12 月 1 日 NPO法人「天岩戸友愛会」の設立
- 平成 22 年 5 月 1 日 グループホーム「つよし荘」開設
- 平成 22 年 8 月 1 日 「就労継続支援B型施設」の認定を受ける。

目的

障がい者が地域で安心して暮らすための施設として就労継続支援B型事業所は、一般企業では困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上の為、必要な訓練を行い福祉の増進を図ることを目的とした活動を行っています。

下記の3つの項目を柱として、色々な活動に取り組んでいます。

◎職業能力の開発支援

- ・利用者に向けた作業や販売できる製品の研究開発。
- ・手芸・調理・農作業の作業を指導し、能力に適した訓練を行う。
- ・外部委託作業を受けることによって、職業経験の実践を行う。

◎福祉の増進

- ・音楽療法等の勉強会
- ・心が豊かになる作品や障がい者の生きがいを考える映画等の上映会
- ・障がい者が自立するための料理教室

◎環境の保全

- ・公共施設の掃除・花植え・手入れ等の参加協力
- ・地区の道路沿いの清掃・缶拾い等のボランティア活動
- ・作業所周辺の環境整備・花の植栽



いかなる状況においても、自己決定を尊重し、当事者との信頼関係を築き、人権と社会秩序を根底におき、本人中心のサービスを支援する。



五ヶ瀬町共生型福祉施設 めくもり

五ヶ瀬町地域活動支援センター について

1. 共生型とは？

障がいの有無、年齢に関わらず、誰もが集いお互いの存在を認め合い、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援する地域福祉のことです。



2. めくもりとは？

平成 21 年 10 月に開所。施設は、廃校となった桑野内小学校の校舎を改築して利用しています。「めくもり」の名称は、町民の公募により決定。「小学校時代より設置されている『暖炉の火のめくもり』のように、ここに集うみんなにめくもりを与えられるように」との思いが込められています。小学校を地域活動の拠り所としていた地域住民との交流も積極的に取り入れながら、次の三つの事業を展開しています。

- | | | |
|--------------|----------------------------------|-------------|
| ① 地域活動支援センター | } 特筆すべきは、それぞれの利用者が同じ施設の中で、隔てなく毎日 | |
| ② デイサービス | | を過ごしている点です。 |
| ③ 高齢者生活支援ハウス | | |



3. 地域活動支援センターでの取り組み

- ① 戸外活動 … 野菜の栽培、散歩、建物周辺の清掃 など
- ② 創作活動 … 展示物の作成、レクリエーション用品の作成 など
- ③ 交流活動 … デイサービス利用者や、支援ハウス居住者、地域の人々との交流、障がい者スポーツ大会などへの参加
- ④ デイケアの実施 … 原則月 1 回（5 月～ 11 月までは月 2 回）

4. めくもりのこれから …



利用者との話し合いを常に行い、継続して利用することを目標に、活動内容はイベント的なものが中心です。

主たる活動であるデイケアの実施回数を増やし、「センターへ定期的に通所する」という感覚をもってもらい、参加案内の郵便物の発送や出欠の確認をとるための電話連絡をすることによって、センターと利用者をつなぎ、利用者が社会から孤立しているのではないと感じてもらいたいと思っています。また、町内外で開催される障がい者に対する行事などにも、今後、積極的に参加してもらいたいです。

共生型施設という特徴を活かし、三つの事業の利用者が共に認め合い、理解し、笑顔で日々を過ごせるよう、様々なメニューを取り入れ、さらに地域に定着するよう関係機関と連携をとりながら、取り組んでいきたいと思っています。

外作業で草刈り中!時給770円いただいています。汗だくで仕事しています!



畑でとれた野菜は、洗ったり、虫食いをチェックして袋詰め!そして販売へ!



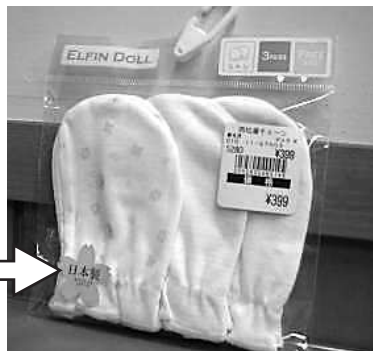
日之影町社会福祉協議会

フラワーパーク のぞみ工房



赤ちゃんの手袋です。
きれいにそろえて袋に
詰めていきます。
汚れもチェック!

のぞみ工房では、みんなと一緒に笑いたい、働きたい、楽しく暮らしたいという、人として当たり前の想いを実現するため、就労をとおして地域に向けた取組も行っています。



陶芸クラブ

商品完成!



地域の子供さんたちに梅ちぎり体験!
楽しく交流ができました。
地域の方に少しでも『障がい』というものを理解
して欲しい、という願いもあります。



〴〵フラワーパーク、と名前のとおり、花と花苗を育てて販売していることでも有名なのぞみ工房です!是非一度見にきてください!!

フラワーパークのぞみ工房

0982-88-1158

高千穂焼作業所の由来と変遷 特定非営利活動法人談笑会

高千穂焼作業所は、平成9年9月9日「精神障がい者小規模作業所」として開設されました。「高千穂焼作業所」の名前は、施設長が焼き物作りを生業としていたことで、そのまま「高千穂焼作業所」と名付けました。

また、利用者が常楽しく会話をしながら生活する場が「談笑会」です。



作業所全景

利用者が自分の将来に夢と希望を持ち、幸せな人生を送れることを願って、作業所の直売店「華幸望」を開店。「高千穂楽願(命)」や「蒸しパン」、ストラップ、フクロウのブローチ、そして作業所のメイ



楽願 まが玉

平成23年度の障がい者自立支援基盤整備事業により、作業室、食堂兼厨房、休養室、相談室、休憩室、車いす対応の男女トイレ等を含むバリアフリーの立派な作業所が、3月14日落成、また10人乗り送迎用ワゴン車も補助事業の一環としていただきました。

5月24日には、河野俊嗣知事の視察を受け、親しく励ましの言葉をいただきました。

【沿革】

平成9年9月9日 開設 通所生 男性1名、女性1名
平成11年5月 通所生 男性5名、女性3名
平成12年 直営店「華幸望」開店
平成19年5月29日 NPO 法人「談笑会」設立
平成23年7月15日 就労継続支援 B 型事業所認定
現在 利用者16名、職員常勤5名、非常勤3名



直売店「華幸望」

ンである焼き物の「まが玉」などを製造販売しています。

平成19年5月29日にNPO 法人談笑会を設立。新製品として高千穂夜神楽をモチーフとした、「高千穂楽願」を作るため、京都のお菓子処「柏庵」という老舗の店に、作業所開設10周年を記念して、作業所全員、楽願づくりの研修に行き、京都本場の楽願に劣らないお菓子づくりに励んでいます。



河野俊嗣宮崎県知事と共に

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 賛助会員の最近の取り組み

医療法人和敬会 国見ヶ丘病院 「地域移行支援について」

当院は昭和40年12月1日より西臼杵地区の精神科中核病院として開設され、現在では265床の精神科病床にぐわえ、併設の介護老人保健施設「神楽苑」とともに当地区の精神科医療、高齢者福祉の向上に努めています。

当院では平成17年度に社会復帰課を立ち上げ、病棟とともに地域移行支援に力を入れてきました。

現在では月1回病棟（退院支援ナース6名）が中心となって入院中の患者様の「退院したい想い」にスポットを当てた退院促進連絡会議や、役場や保健所、西臼杵支庁など行政や作業所など多くの関係機関に当院へ出向いていただき、患者様の退院、そして退院した後の生活支援について地域支援会議という形で情報交換を行っています。

また、不動産会社や民生委員の方々など地域の皆様の温かい見守りや関わりもあり患者様が地域生活を安心して送っています。

平成23年度はこのような病棟、地域の連携の中で約40年間入院されていた2名を含む7名の長期入院患者様が地域へ戻られています。なかには再入院された方もいらっしゃいますが温かく支援していきたいと考えています。

今後も地域の方や行政と連携を図りながら「退院したい想い」を大事にし、それに応えられるつながりを築いていきます。



現在、民間でのアパート「太陽荘」にて退院された6名の方が共同生活をされています。



名勝天然記念物である高千穂峡の峡谷を眼下に、阿蘇山を遙かに望み、国見ヶ丘を目の前にした自然溢れる環境です。病院名は神話伝説にちなんだ山の名前です。

〒882-1102

宮崎県西臼杵郡高千穂町大字押方1130

TEL 0982-72-3151 FAX 0982-72-3153

E-Mail: kunimi.hp@adagio.ocn.ne.jp

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

平成23年度事業実績

1. 会議開催

第1回総会（平成23年5月13日）

役員の改選について

- ① 平成22年度事業実績について
- ② 平成22年度決算について
- ③ 平成23年度事業予算（補正）について
- ④ 報告事項
 - ・第51回（平成23年度）精神保健福祉大会（宮崎市）の開催について
 - ・第10回（平成23年度）宮崎県障がい者スポーツ大会の開催実績について

第1回理事会（平成23年8月17日）

- ① 役員の改選について
- ② 新会員入会の承認について
- ③ 精神保健福祉功労者に対する「平成23年度宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰」の選考について
- ④ 精神保健福祉みやざき（第51号）の発行について
- ⑤ 報告事項
 - ・第51回精神保健福祉大会の進捗状況について
 - ・「みやざきこころ青Tねっと」登録エリア拡大について

第2回総会（平成24年3月7日）

- ① 平成24年度事業計画について
- ② 平成24年度予算について
- ③ 報告事項
 - ・平成23年度の決算見込みについて

2. 大会開催

- (1) 第10回宮崎県障がい者スポーツ大会

平成23年5月8日(日) 宮崎県総合運動公園ほかで開催

参加者 2,282名 (うち選手数 1,637名)

- (2) 第51回精神保健福祉大会

平成23年11月8日(火) 宮崎市民文化ホールにて開催

参加者 約500名

3. 精神保健福祉功労者表彰

- (1) 県大会時表彰状授与 6件(個人6名)

4. 支援・助成

- (1) 宮崎県精神福祉連合会(助成額 30万円)

- (2) 宮崎県断酒友の会(助成額 5万円)

5. 普及・啓発

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき(第51号)」の発行・配布(1,500部)

- (2) 啓発誌「心の健康(Na66)」の作成・配布(8,000部)

- (3) 専用ホームページの運用

検索システム「こころ安心・相談ネット(愛称:みやざきこころ青Tねっと)の運用

・医療機関・相談機関等の追加

・スマートフォン用ホームページ作成

「自殺対策強化月間(3月)」関連キャンペーン活動

・街頭にてチラシ、ポスターの配布

6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会(鹿児島県)平成23年11月25日開催

- (2) 全国精神保健福祉連絡協議会総会(福井県)平成23年10月24日開催

平成 24 年度事業計画

1. 大会開催

- (1) 第11回宮崎県障がい者スポーツ大会
平成 24 年5月13日(日) 開催、宮崎県総合運動公園他(宮崎市)
- (2) 第60回精神保健福祉全国大会
平成 24 年10月26日(金) 開催予定、会場：宮崎市民文化ホール

2. 精神保健福祉功労者表彰

(第60回精神保健福祉全国大会時に表彰状授与予定)

3. 普及啓発事業

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき(第52号)」の発行・配布(1,200部)
- (2) 啓発誌「心の健康(No.67)」の作成・配布(8,000部)
- (3) 広報媒体「専用ホームページ(HP)」の運用
ホームページアドレス <http://www.miya-seiren.com>
- (4) 「こころ安心・相談ネット(青Tねっと)」の運用
ホームページアドレス <http://www.m-aot.net>
- (5) 「自殺予防啓発活動基金」事業
一般県民向けの販売用の啓発グッズを製作する基金事業を引き続き実施するとともに、新たな啓発グッズの開発を行う。
- (6) ビデオ・図書類等の貸し付け
- (7) 自助グループ活動への助言・支援

4. 各種団体に対する助成

- (1) 精神福祉連合会が実施する啓発活動(講演会、情報誌、ホームページ)への助成
- (2) 断酒友の会が実施する啓発活動(研修会、断酒教室、機関誌)への助成
- (3) ルピナス倶楽部が実施する啓発活動(ルピナスフォーラム等)への助成

5. 総会・理事会の開催

- (1) 第1回総会(平成24年5月末頃開催)
事業実績・決算承認、当初予算補正、役員改選等
- (2) 第2回総会・第1回理事会(平成24年8月上旬頃開催予定)
表彰者決定、機関誌発行、事業進捗報告など
- (3) 第3回総会(平成25年3月下旬頃開催予定)
当初予算・事業計画決定、事業日程・新規案件協議など

6. その他(関係団体)

- (1) 全国精神保健福祉連絡協議会総会(平成24年10月下旬頃)
- (2) 九州精神保健福祉協議会理事会(平成24年11月下旬頃)

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿

平成24年8月9日現在

役 名	氏 名	役 職 名
会 長	三 山 吉 夫	宮崎大学 名誉教授
副 会 長	高 宮 眞 樹	宮崎県精神科病院協会 会長
常 務 理 事	河 野 次 郎	宮崎県精神保健福祉センター 所長
理 事	後 藤 勇	宮崎地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	谷 口 浩	日南串間地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	藤 元 登 四 郎	都城北諸地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	内 村 大 介	西諸地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	中 林 永 一	西都児湯地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	田 中 洋	日向入郷地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	吉 田 建 世	延岡地域精神保健福祉協議会 代表 宮崎県精神科医会 会長
理 事	植 松 昌 俊	西臼杵地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	石 田 康	宮崎大学医学部精神医学講座 教授
理 事	福 岡 寛	宮崎県精神科診療所協会 理事
理 事	中 西 弘 士	宮崎県障害福祉課就労支援・精神保健対策室長
理 事	立 本 久 子	宮崎県精神福祉連合会 理事長
理 事	米 崎 邦 雄	宮崎県断酒友の会 理事長
理 事	矢 野 光 孝	宮崎県障害者社会参加推進協議会 会長
監 事	藤 崎 淳 一 郎	宮崎県保健所長会 会長
監 事	高 橋 博	宮崎県社会福祉協議会 副会長

● 役 員 数：理事 18 名（会長 1 名、副会長 1 名、常務理事 1 名を含む）、監事 2 名

● 役員任期：平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿

正会員

平成24年8月現在

組織・団体名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
宮崎地域精神保健福祉協議会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
日南串間地域精神保健福祉協議会	889-2536	日南市吾田西1-5-10 日南保健所内	0987-23-3141	0987-23-3014	
都城北諸地域精神保健福祉協議会	885-0012	都城市上川東3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
西諸地域精神保健福祉協議会	886-0003	小林市堤3020-13 小林保健所内	0984-23-3118	0984-23-3119	
西都児湯地域精神保健福祉協議会	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦5120-1 高鍋保健所内	0983-22-1330	0983-23-5139	
日向入郷地域精神保健福祉協議会	883-0041	日向市北町2-16 日向保健所内	0982-52-5101	0982-52-5104	
延岡地域精神保健福祉協議会	882-0803	延岡市大貫町1-2840 延岡保健所内	0982-33-5373	0982-33-5375	
西臼杵地域精神保健福祉協議会	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井1086-1 高千穂保健所内	0982-72-2168	0982-72-4786	
社団法人 宮崎県精神科病院協会	880-0013	宮崎市松橋1-1-32 コーポはまゆう7F	0985-60-2671	0985-60-2672	
一般社団法人 宮崎県精神科診療所協会	880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-7 あいクリニック内	0985-25-0085	0985-25-5882	
宮崎大学医学部精神医学教室	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会	880-8515	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-22-3145	0985-27-9003	http://www.mkensha.or.jp
宮崎県精神科医会	889-0511	延岡市松原町4-8850 吉田病院内	0982-37-0126	0982-37-0233	
特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会	880-0014	宮崎市鶴島2丁目9-6 NPOハウス201号	0985-71-4366	0985-71-4366	http://www5.ocn.ne.jp/~mkaren
社団法人 宮崎県断酒友の会	880-0913	宮崎市恒久6丁目9-11	0985-53-6030	0985-53-6030	
宮崎県障害者社会参加推進協議会	880-8515	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-26-2950	0985-26-2950	
宮崎県保健所長会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
宮崎県障害福祉課就労支援・精神保健対策室	880-8501	宮崎市橘通東2-10-1	0985-32-4471	0985-26-7340	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	0985-27-5663	0985-27-5276	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎大学名誉教授	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270 老年期精神疾患センター内	0986-52-5800	0986-52-5573	

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
宮崎大学医学部附属病院精神科	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-9142	—	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/hospital
医療法人清芳会 井上病院	880-0123	宮崎市大字芳士80	0985-39-5396	0985-39-2410	http://www.inoue-hp.net
医療法人同心会 古賀総合病院	880-0041	宮崎市池内町数太木1749-1	0985-39-8988	0985-39-0067	http://www.kgh.or.jp
医療法人真愛会 高宮病院	880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931	0985-24-5678	0985-22-1571	http://www.takamiya.or.jp

財団法人弘潤会 野崎病院	880-0916	宮崎市大字恒久5567	0985-51-3111	0985-51-3114	http://www.koujunkai.jp
医療法人慈光会 宮崎若久病院	880-0945	宮崎市福島町寺山3147	0985-51-1548	0985-52-7394	http://www.miyazaki-wakahisa.com/
医療法人如月会 若草病院	880-0804	宮崎市宮田町7-37	0985-28-2801	0985-20-0819	http://www.miyazaki-wakakusa.or.jp
社団法人八日会 大悟病院	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270	0986-52-5800	0986-52-5573	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人恵心会 永田病院	885-0084	都城市五十町5173	0986-23-2863	0986-23-2238	
社団法人八日会 藤元病院	885-0055	都城市早鈴町17-4	0986-25-1315	0986-25-2473	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人一誠会 都城新生病院	885-0093	都城市志比田町3782	0986-22-0280	0986-25-1958	http://www.shinsei-hp.jp
医療法人隆誠会 延岡保養園	882-0863	延岡市緑ヶ丘5-14-30	0982-33-6396	0982-35-3370	http://www.ryuseikai.com
医療法人建悠会 吉田病院	889-0511	延岡市松原町4-8850	0982-37-0126	0982-37-0233	http://www.yoshida-hp.com
医療法人同仁会 谷口病院	887-0034	日南市大字風田 3861	0987-23-1331	0987-23-7739	http://www.taniguchi-hospital.jp
医療法人浩然会 内村病院	886-0002	小林市水流迫 852-1	0984-23-2575	0984-22-6442	http://www.uchimura-hospital.jp/
医療法人信和会 小林保養院	886-0003	小林市堤 2939	0984-22-2836	0984-22-5341	
医療法人和敬会 国見ヶ丘病院	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方 1130	0982-72-3151	0982-72-3153	http://www.kunimigaoka.or.jp
医療法人十善会 県南病院	888-0001	串間市大字西方 3728	0987-72-0224	0987-72-5967	http://www.kennan-hospital.or.jp
医療法人向洋会 協和病院	883-0021	日向市大字財光寺 1194-3	0982-54-2806	0982-54-3319	
医療法人望洋会 鮫島病院	883-0033	日向市大字塩見 14168	0982-54-6801	0982-53-7313	http://www.sameshima-hp.jp
医療法人社団慶城会 瀧井病院	883-0033	日向市大字塩見 11652	0982-52-2409	0982-52-2403	
特定医療法人浩洋会 田中病院	889-0623	東臼杵郡門川町宮ヶ原 4-80	0982-63-2211	0982-63-2211	http://www.h7.dion.ne.jp/~tanaka_h
医療法人恵喜会 西都病院	881-0023	西都市大字調殿 1010	0983-43-0143	0983-43-3625	http://saito-hospital.jp
医療法人りっか会 ピア・メンタルさき病院	880-0211	宮崎市佐土原町下田島 21230	0985-73-1811	0985-72-0640	http://www.peer-ricka.jp
医療法人あいクリニック	880-0879	宮崎市宮崎駅東 1-6-7	0985-25-0085	0985-25-5882	http://www.ai-clinic.pro
医療法人社団静心会 近間クリニック	880-0031	宮崎市船塚 1-2	0985-24-6662	0985-24-7008	
福永内科神経科医院	889-1607	宮崎市清武町加納 1-29-2	0985-85-6006	0985-85-6006	
早稲田内科神経科医院	880-0933	宮崎市大坪町西六月 2197-1	0985-53-3030	0985-54-5151	http://www.houmei.or.jp
野田クリニック	882-0052	延岡市萩町 52	0982-35-7789	0982-34-0085	
こごうメンタルクリニック	880-0905	宮崎市中村西 3-2-33	0985-55-1777	0985-55-1789	http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~kogomentalclinic/
北野メンタルクリニック	880-0824	宮崎市大島町南窪 814-4 マルコービル 105	0985-22-7588	0985-22-7587	
向陽の里診療所	880-1101	東諸県郡国富町大字本庄 1407	0985-75-7752	0985-75-2979	
医療法人ハートピア細見クリニック	880-0001	宮崎市橘通西 1-5-3	0985-35-1100	0985-38-1711	http://www9.ocn.ne.jp/~hosomicl/index.htm
サザンクリニック	880-0912	宮崎市大字赤江 830-1	0985-50-5771	0985-50-5663	
みずのメンタルクリニック	883-0041	日向市北町 1-2	0982-57-3627	0982-50-0855	http://www.mizuno-mental.com
中村クリニック	880-0806	宮崎市広島1丁目 17-21 ポレスターアーバンシティ広島1F	0985-32-7830	0985-32-7831	http://www.nakamura-cl.com

精神保健福祉みやざき（第 52 号）

平成 24 年 10 月発行

編集発行 **宮崎県精神保健福祉連絡協議会**

〒880-0032 宮崎市霧島1-1-2

TEL 0985-27-5663

FAX 0985-27-5276

印刷製本 有限会社 宮崎新生社印刷

〒880-0124 宮崎市新名爪中牟田766

TEL 0985-39-6148

編集委員会 委員名簿

中央保健所健康づくり課	技 師	宮 里 瞳
日南保健所健康づくり課	副 主 幹	坂 本 三智代
都城保健所健康づくり課	技 師	高 野 吉 輝
小林保健所健康づくり課	主任保健師	川 野 清 子
高鍋保健所健康づくり課	技 師	松 田 有 加
日向保健所健康づくり課	主 任 技 師	岩 切 裕 美
延岡保健所健康づくり課	技 師	井 上 優美子
高千穂保健所健康づくり課	技 師	宮 田 志 保
精 神 保 健 福 祉 セ ン タ ー	副 所 長	日 高 真 二
	主幹兼主任	本 崎 栄 治
	主 査	西 山 佳 恵

精神保健福祉

みやざき



宮崎県精神保健福祉連絡協議会

再生紙を使用しています